

# P T A 活動報告 No. 3

奈良西養護学校  
P T A 会長 土田知子  
P T A 会長 駿河友美



出席者：辻校長先生 藤田教頭先生 大谷教頭先生 本部9名

師走の候、会員の皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃よりP T A活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

12/6(火)に開催しました全体役員会を以下の通りご報告いたします。

## ◆校長先生ごあいさつ◆

日頃より、本校の教育活動及び学校運営に多大なるご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

先日は、3年ぶりに「成人を祝う会」を本校体育館で無事開催することができ、集っていただいた卒業生の華やかな振り袖姿や凛々しいスーツ姿に、未来への希望を感じることができました。コロナ禍での開催にあたり、細部に至るまで感染対策を徹底していただきながら、当日までのご準備、また運営面でもお世話をおかけし、大変にありがとうございました。成人を迎えられた参加者も大変喜ばれていました。

午後からは、二学年だけの参加に限定しての親子同窓会も開催されましたが、こちらも母校に集えた喜びを感じる催しとなりました。今後も工夫をしながら、顔をつきあわせて行事は行わなければならないと感じたところです。

11月には中学部の修学旅行が無事実施でき、これで大きな学校行事も山を越えることができました。残された1学期間も子ども達が充実した学校生活を送れますよう全力で取り組んでまいります。

マメールでも度々お知らせしておりますが、本校におきましてもコロナの感染が徐々に拡大してきております。県内ではインフルエンザの集団感染の報告もありましたので、再度、学校においてもインフルエンザの感染防止と合わせて、マスクの着用や手指消毒など基本的な感染症対策を徹底してまいりますので、ご家庭におかれましても感染対策の取組みにご協力くださるようお願いいたします。

学習評価の2期制に伴い、この学期末には保護者懇談は予定しておりません。ただし、保護者の方からご相談等があればいつでもお受けいたしますので、お気づきのこと、ご心配なことなど学級担任まで知らせください。

子どもたちの成長に向けてご協力をよろしくお願いいたします。

教職員一同力を合わせ、子どもたちの学びを着実に進めていきたいと考えています。引き続き、P T A、保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

## ◆会長あいさつ◆

会員の皆さまには、日頃よりP T A活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

12月に入り一気に寒さが増しましたね。今年度のP T A活動も後半に入り、引継ぎや総会の準備が始まりました。もう総会の準備をするのかと思われるかもしれませんが、この時期から少しずつ動き始めています。

さて、このたび新たな取り組みとして、先生方にご協力いただき、学校のホームページにP T A活動を掲載させていただき運びとなりました。P T A活動の様子や校外の研修会に行った報告などをお知らせ出来ればと思っておりますので、ホームページもご覧いただけますと幸いです。

皆さま、どうぞ良いお年をお迎えください。

## 各部報告

進路対策部	10/18(火)	社会福祉法人いこま福祉会「かざぐるま・かざぐるまえ〜」へ取材の為、施設見学依頼文書を持参
	11/11(金)	社会福祉法人いこま福祉会「かざぐるま・かざぐるまえ〜」へ取材の為、施設見学及び、卒業生・保護者の方へのインタビュー
	11/16(水)	第3回障害福祉サービス事業所説明会 会場準備・駐車場誘導手伝い
	11/24(木)	施設見学のお礼文書作成
文化体育部	11/ 8(火)	大谷教頭先生へ今年度卒業文集作成について相談
	11/10(木)	大谷教頭先生とメールにて文集作成について打合せ
	～14(月)	コロナ禍で今年度も学級委員の立ち上げがない為、保護者向けのお知らせ作成と配布担当
	11/16(水)	保護者お祝いメッセージについてのお知らせ印刷
	11/21(月)	令和4年度 各学部卒業生の保護者向けお知らせ配布
環 境 部	10/14(金)	ウェブベルマーク紹介のお便り配布手配
	10/18(火)	ベルマーク仕分け集計作業
	10/31(月)	ベルマーク発送
	11/30(水)	インクカートリッジ・トナーカートリッジ回収のお願い文章作成
広 報 部	10/18(火)	「広報誌作成に向けたアンケート」印刷・配布手配
	10/19(水)	中学部主事 久保先生に取材
	10/24(月)	高等部主事 田中先生に取材
	10/27(木)	ウェブ掲載について大谷教頭先生と打合せ
	〃	アンケートの回収・集計作業
	10/28(金)	小学部主事 甲元先生に取材
	11/ 8(火)	ウェブ掲載お知らせ文書の印刷・配布手配
	11/17(木)	広報誌ピース原稿作成作業
	11/22(火)	大谷教頭先生に広報誌原稿確認依頼
	12/ 1(木)	広報誌原稿データ入稿
安全対策部	11/ 4(金)	防災備蓄食料品についてのアンケート作成
	11/ 8(火)	防災備蓄食料品アンケート印刷・配布手配

## 本部報告

10/19(水) 前期会計監査（会議室）

10/22(土) 高P第2回役員会（奈良県産業会館）

10/27(木) 令和4年度第1回奈良西養護学校 学校運営協議会（奈良西養護学校）

出席者：辻校長先生、帝塚山地域自治協議会会長他 計9名

テーマ：ここにあってよかった奈良西養護学校

議題：『奈良西養護学校に足りないものは何か？』を保護者代表としてあげ、「来年は人数制限を行い、水泳の授業の再開を検討して欲しい」「富雄第三小中学校との交流や保護者同士の交流の減少」について話し合いました。

11/ 4(金) 高P VPA乗車マナー指導

昇降口で集合し、点呼後バス停に向け出発しました。

道中、先輩が後輩を気に掛ける様子があり、生徒同士の関係性も良好で、バス車内でも静かに過ごし、席を譲るなど良いマナーも身につけていると感じました。

11/ 9(水) 高P特別支援教育講演会（教育研究所） ③別途下記報告

11/18(金) 近知P連研修会 滋賀大会(草津アマカホール) ①別途下記報告

〃 近知P連第2回理事会(草津アマカホール)

11/19(土) 高P第3回役員会(奈良県産業会館) 要望書の提出日、第2学期及び第3学期会長(学校代表)会について

11/26(土) 全知P連全国役員・都道府県代表者連絡協議会(リモート) ②別途下記報告

11/26(土)・27(日) 第73回全国人権・同和教育研究大会奈良大会(生駒市たけまるホール) ④別途下記報告

12/3(土) 高P第2学期会長会(新型コロナウイルス感染の為欠席)

12/4(日) 『第13期成人(二十歳)をお祝いする会』(奈良西養護学校 体育館)

コロナの影響で2年間集まっていた開催が叶いませんでしたが、今年度は学校と同窓会保護者の方々のご協力でPTA本部役員と実行委員会を結成し、感染症対策を十分にとって、無事開催できました。

久しぶりの母校でのお祝いの会ということで、参加された方々には大変喜んでいただきました。

## ① 近知P連研修会 滋賀大会・近知P連第2回理事会 《報告：土田》

**講演会** 演題：「自立・就労に向けて周囲の大人がやるべきこと」

講師：兵庫県立山の学校校長 田中 裕一氏

※人の話を丁寧に聴くこと、繋がるのが大切

- ・子どもがどんな思いを持っているのか
- ・本当にして欲しいと思っているのか
- ・親や支援者が勝手に決めつけていないか
- ・子どもが50歳や60歳になった時にどんな生活をするのか
- ・学校以外での繋がり、例えば病院や福祉事業所などとの繋がりを持つこと

子どもの思いを尊重して、将来に向けたサポート体制を整えていきたいと思いました。

## 情報交換会

- ・京都教育大学付属特別支援学校「育友会の改革について」
- ・和歌山県立紀伊コスモス支援学校「学校と協力してキャリア教育推進を行っている内容について」
- ・滋賀県立野洲養護学校「PTA主催の祭りを開催して地域との繋がりを大切にしている取り組みについて」

他校の取り組みを聞く機会がないのでとても新鮮で、本校にも生かせたらと刺激される点多々ありました。

## ② 全知P連全国役員・都道府県代表者連絡協議会 講演会・研修会(リモート) 《報告：土田》

**講演会** 演題：「卒業後を自分らしく生きるために必要な力とは」

講師：明星大学 教育学部教育学科常勤教授 明官 茂氏

- ・社会で自分らしく生きるためには、子どもの興味や関心をきちんと把握し、将来の姿をイメージすることが大切
- ・“できた”“できない”ではなく、子どもの思いや何かをしようとする姿勢に目を向けることが重要

結果にこだわらず、ゆっくりと成長を見守っていききたいと思いました。

**研修会** 演題：「主権者教育の現場から学ぶ～誰もが自分らしく社会参加ができるように～」

パネリスト：狛江市副市長 平林 浩一氏

東京都立調布特別支援学校 生活指導主任 常松 幸三郎氏

「主権者教育とは？」簡単にいうと選挙で誰に投票するのか、「小学部、中学部の時から自分の意志で選ぶことを学ぶ」ことであり、「何を選んでも、それが正解である。間違いはない。」とのお話でした。

【みんなの選挙】で検索すると、障がいのある人に役に立つ情報が掲載されており、投票しやすいサポートを行っている自治体の紹介を見て、全国的に広がってほしいと思いました。

### ③ 高P 特別支援教育講演会 《報告：山東》

演題：「障害があるとはどういうことだろうか」 講師：香川大学 坂井 聡 教授

#### ●障害は治す必要はない

出来ない事をやれと言っても無理なものは無理で、社会に合わせる必要はない

#### ●障害があるとはどういうことか

本人を指す言葉ではなく、本人が社会に参加できないこと・活動できないことが障害である

誰もが参加・活動できるようには作られていない今の社会が、障害を作り出しているのではない

障害を失くすためには環境を整えてあげることが大切で、出来ることが増えるなら特別扱いは悪いことではない

\*出来ない苦手なことがあるなら特別扱いしてあげれば良い

\*お金の計算が出来ないなら電子マネーを使わせてあげれば良い

\*カタカナが読めないならふりがなを打ってあげれば良い

#### ●自立するとはどういうことか

他人のお世話にならず、自分のことは自分でできるようになることではない

尊厳ある人と認められながら、周りのサポートがあっても良いので自分らしく生きることである

#### ●なぜオウム返しをするのか

誰であっても訳のわからない言葉をなげかけられると、意味が理解できずにオウム返しをしてしまうことがある

特性ではなく、言葉の意味が理解できないが故の場合もあるかもしれないので、伝え方を変えて再度伝えてみる

#### ●大切にすべきこと

社会や親が、障害を持った人達や子供達の《障害》になってはいけない

環境が障害を作り出していることへの気づき・意識が大切

価値観や思い込みを押し付けることなく、その子の考えや意思を再度考える

一番身近な我が子の興味・関心・可能性を摘み取ってしまわぬよう、親が《障害》にならないように心がけたいと思いました。

### ④ 第73回全国人権・同和教育研究大会奈良大会 《報告：濱田》

**研究大会** テーマ「人権の確立と平和を求めて」戦争・貧困・差別・いじめ・ネット・コロナ・『社会的孤立化』

コロナ禍3年を迎え、感染対策の影響により人間関係が希薄化し、困ってもSOSを出せず社会から孤立し、児童虐待・介護虐待・DV等が増えているそうです。私たち一人一人が周りに無関心にならず、相手を見ようとする事、気付くことで困っている人を「助けられる立場の人」に繋いでいけるのだそうです。まずは、気づくことが第一歩なのだと思いました。

#### **実践報告会**

人それぞれ障害や特性はある。何かがあるとかないとかではなく、人と人として関わる事、また、その子が生きてきて関わった人たちの思いや背景を知り、受け止めながら関わる事が、生きづらさをなくしていくことに繋がっていくとのことでした。

改めて、自分も相手も大切に、多様性を認め合いながら繋がりを持つる人になりたいと思いました。

## 予定

1/7(土) 高P 三役会・第4回役員会

1月か2月 高P 特別支援教育部会

// 県知P連 情報交換会

2/3(金) 高P 第3学期会長会（ホテルリガーレ春日野）

3/11(土) 高P 三役会

## ◆藤田教頭先生あいさつ◆

私からは、12/23（金）に予定しております「大規模地震発生時における児童・生徒の引き渡し訓練」についてお話をさせていただきます。

先日、訓練ご協力お願いの文書を配布させていただきました。

児童・生徒が在校時に、震度5弱以上の地震が発生したことを想定して行います。緊急時に保護者様に安全、確実に引き渡しができるよう手順の確認や検証をさせていただきたいです。

過去を振り返りますと、阪神大震災が起こった時、私は大阪にいたのですが、朝起きたところでめまいかと思う揺れから始まり突き上げる感覚や窓ガラスがひねって割れるような大きな揺れがありました。電車などが止まる速報が入ったので、学校に出勤しなければと、すぐに車で奈良に向かって出発したのですが、皆さん同じことを考えたようで、奈良に入るまで車が全く動かないと言って良いくらいの状態で、かなり時間がかかりました。

東北でおこった大震災の時は、東京でも交通機関が止まったことで自宅に帰れないほど人があふれ、“帰宅難民”という言葉が何度も使われるほど、歩いて移動しなければならない状態でした。

おうちの方でも大規模災害時を想定し、どのようなルートでどのように迎えに行くか等をこの機会に話し合っただく機会になればと思います。

当日は10時30分頃にマメールで、お迎えの連絡をさせていただきます。

引き渡し訓練連絡票を提出された方は、11時45分～12時30分の間にお迎えをよろしくお願いいたします。

## ◆大谷教頭先生あいさつ◆

新型コロナウイルス感染症の感染について、奈良県内での感染報告数が1,000人を超える日も出てまいりました。実際、本校においても感染、濃厚接触としての欠席は増えているといった印象を持っています。

本校は、10月に文書でご案内しましたように、県よりハイリスク施設にあたと判断されており、一般よりは若干長めの療養・自宅待機期間となっております。

### 【新型コロナウイルス感染症に関して、冬休み中の学校への連絡について】

平日 午前8時45分～午後5時15分 学校固定電話

土曜・日曜・祝日 午前8時45分～午後5時15分 学校携帯電話

年末年始（12/29～1/3） 1/4の午前8時45分～午後5時15分 学校固定電話

新型コロナウイルス感染症以外に緊急連絡が必要な場合、例えば病気や事故、行方不明等につきましては、先ほど申し上げた午前8時45分～午後5時15分以外の時間にも、緊急時用携帯電話へ連絡をお願いします。

ただいまご案内しました冬休みの連絡方法が実際に活用されるような状況が起きないことを願っております。

皆様方におかれましては、体調を崩しやすい時期でもありますので、休業中も体調管理に努め、有意義な冬休みをお過ごしください。

## 『ペットボトルキャップ回収ご協力のお願い』

本校の中学部では、授業でリサイクル活動に取り組んでいます。  
仕分けをして丁寧に洗ったキャップは、リサイクルセンターに持ち込み再資源化されています。  
ご家庭で処分していたペットボトルキャップをご提供ください。

### 【回収方法】

来校時に、保護者様が直接回収ボックスにお出しください。

回収ボックスは事務室前カウンターに設置しています。

※怪我や誤飲の恐れがありますので、生徒児童のカバンに入れて持たせないでください。

ぜひご協力よろしくお願いたします。



## 『インクカートリッジ・トナーカートリッジ回収ご協力のお願い』

日頃よりベルマーク運動にご協力いただきありがとうございます。

従来のベルマーク同様、インクカートリッジ・トナーカートリッジも

ベルマークの点数となり備品購入の助けとなります。

### 【対象商品】

キャノン・エプソン・ブラザー純正のみ

### 【回収方法】

外箱を外し、カートリッジのみをビニール袋等に入れ、

生徒児童のカバンの中でインクが漏れないようご協力よろしくお願いたします。

